

くらし・福祉を
ささえるまちへ



子育て応援します



北野のり子だより

*議員団控室 Tel740-1811

*日本共産党川西市委員会

川西市平野2-1-3

Tel792-2164

北野のり子の活動をお知らせ
しています。

多人数世帯ほど負担増! 一人当たり平均 保険税引上率11.91%



区分	医療給付費分 (被保険者全員)	後期高齢者支援金分 (被保険者全員)	介護給付金分 (40歳~64歳の人)
所得割率 (%)	6.24%→ 6.45%	1.87%→ 2.65%	2.40%→ 2.75%
均等割額 (円/人)	24,900円→ 25,800円	7,400円→ 9,800円	9,800円→ 10,400円
平等割額 (円/世帯)	19,500円→ 20,200円	5,600円→ 7,600円	5,400円
課税限度額 (円)	510,000円	140,000円	120,000円

1月17日、市より国民健康保険運営協議会へ国民健康保険の税率等改定について諮問されました。

運営協議会の答申内容は、改定率15.95%と高く、国民健康保険の被保険者の負担が大き

国民健康保険税値上げ!

多くの社会的弱者を抱える国民健康保険の改定率としては適当でない。負担軽減を図るためには、一般会計からのさらなる繰入金投入も、緊急的な措置として必要である。今回の改定については、改定率10%未満の改定が望ましいと考えるが、市の財政状況等を勘案したところ11.91%の改定はやむを得ないと判断する。というものでした。今回の大幅な税率改定により、多人数世帯ほど均等割



例: 4人世帯(夫婦・子2人)
給与収入400万円の場合
年間“4万8300円”
アップ(11.4%)

額が増えるため、負担感が大きく特に稼働年齢層に達していない者を扶養している子育て世帯について、子どもの均等割額を減免し負担を軽減する案が出されました(2年間の軽減措置)

国保の危機を引き起こした最大の要因は、歴代政権が市町村の国保財政への国庫負担を大幅に削減したからです。また、非正規労働者や無業者などが国保加入者の多数を占めるようになったことも国保の貧困化に拍車をかけています。市でも高齢者を多く抱えており、さらに保険税負担能力が低い方々の加入割合が高くなっていることから財政は危機的な状況にあります。

一般会計繰入金増で 値上げは中止せよ!

市は今後5年間の財政状況について(平成25年度から29年度)収支不足額は49億円。この収支不足の改善を図るために市は、行政改革を推進するとしています。今回の推進計画におでかけ促進事業助成金の見直し、助成額3千円から2千円とする。効果額は5年間で約1億3千万円。その他取り組みを含め行革による効果額は、8億1千5百万と説明。



年金支給額が減っているのに保険税が上がるなんて大変!
そのうえ“おでかけ促進事業”の見直し...
なんとかしておくれ。

高齢者おでかけ促進事業

70歳以上の高齢者に、生きがいづくりや、おでかけの促進を目的として、阪急電車やバス等の私鉄沿線で利用できるプリペイドカード等を購入する際に使用できる助成券を年3,000円分発行しています。また、川西市が主催するイベントなどへの招待(抽選)を行っています。

私は、おでかけ促進事業の見直しで確保できる財源は、年間わずか2千5百万円ほど。高齢者のみなさんも喜んで利用され効果のある事業。削るべきではないと考えます。市は、高齢者の外出の機会に資する事業と考えているものの、財政状況を踏まえると、対象者が増加すると見込まれることから今以上の事業費の増加を抑制したいとしています。



おでかけ促進事業 見直しやめよ!